

(応募補助用紙)

「求職者専門相談員」(表面)

応募者氏名 _____

【次の質問に、お答えください。】

【回答欄が不足する場合は、枠欄を適宜拡大して構いませんが、できる限りA4両面にまとめてください。】

- 1 (保持資格等一覧)(知識・実務経験等一覧)の中から、該当するものがあれば、該当番号をすべて記入してください。
また、当該資格や知識・経験等を生かした業務経験の詳細を教えてください。

(該当番号)	(業務経験の詳細)

- 2 あなたが今回の求人職種に採用された場合、「支援をしたい」と考えている対象者を、以下の一覧の中から、該当番号に○を付してください(複数回答可)。

また、選択した対象者に対して、取り組んでみたい支援内容を具体的に記入してください。

【対象者】 ①生活保護受給者・児童扶養手当受給者等 ②刑務所出所者等 ③雇用保険受給資格者 ④若年者・フリーター ⑤留学生 ⑥子育て中の就職希望者 ⑦介護離職者 ⑧ひとり親の求職者 ⑨医療・福祉分野の就職希望者 ⑩建設・警備・運輸分野の就職希望者 ⑪障害者 ⑫訓練希望者 ⑬がん疾患等長期療養者 ⑭高齢者求職者 ⑮就職氷河期世代 ⑯その他()
(支援内容)

(保持資格等一覧)

- ① キャリアコンサルティング技能士(1級又は2級)、キャリアコンサルタント国家資格、産業カウンセラーのいずれか。
- ② 臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士、理学療法士、作業療法士、手話通訳者のいずれか。
- ③ 介護福祉士、看護師、保育士、ほか医療・社会福祉分野の資格。
- ④ 社会保険労務士、社会福祉士のいずれか。

(知識・実務経験等一覧)

- ⑤ 企業(事業所)の人事労務管理に関する知識・実務経験を有する。
- ⑥ 職業相談・職業紹介に関する知識・実務経験がある。
- ⑦ 職業安定行政施策または矯正・更生保護行政施策に関する知識がある。
- ⑧ 若者の採用・就職活動支援等に関し、実務経験がある。
- ⑨ 介護福祉士、看護師、保育士等医療・福祉分野の資格を持ち、かつ1年以上の実務経験がある。
- ⑩ 医療・福祉分野の企業(事業所)における人事労務管理の知識・実務経験がある。
- ⑪ 建設・警備・運輸分野に関する資格を持ち、かつ1年以上の実務経験がある。
- ⑫ 建設・警備・運輸分野の企業(事業所)における人事労務管理の知識・実務経験がある。
- ⑬ 障害者雇用に関する専門的知識を持ち、かつ相談員支援業務に3年以上従事した実務経験がある。
- ⑭ 職業能力開発、職業相談・職業紹介に3年以上従事した実務経験がある。
- ⑮ 医療・社会福祉分野における実務経験がある。
- ⑯ 地域の労働市場の状況や産業界の動向等に関する知識がある。
- ⑰ 年金等の社会保障制度に関する知識・実務経験がある。

【裏面は、記入できる方のみ(記入できる箇所のみ)記入をお願いします。】

(応募補助用紙)

「求職者専門相談員」(裏面)

3 勤務している(いた)部署、期間、職種、主に支援している(いた)対象者又は事業主を記入してください。(複数ある場合は、一番長く勤務していた時のものを記入してください。)

(例:〇〇安定所) (例:〇〇株式会社)	(例:令和〇年〇月～現在)	(例:求職者専門相談員) (例:キャリアカウンセラー)	(例:若年者・フリーター) (例:シニア世代)
-------------------------	---------------	--------------------------------	----------------------------

4-1 上記3の期間中、担当する業務を進めていく中で、具体的な(個人又は組織の)目標がありましたか。また、当該目標を達成するために、自ら能動的(積極的)に取り組んだ内容について記入してください。
(目標がなかった場合は、目標なしと記入した上で自ら能動的(積極的)に取り組んだ内容について記入してください。)

4-2 (続き)

自ら能動的(積極的)に取り組んだことで、どんな結果・成果がありましたか。また、どんな課題点があると考えましたか。課題点に対して改善すべき部分や取り組むべき部分等も含めて、具体的に記入してください。

5 上記4の内容を踏まえ、あなたが採用された場合、「新たに挑戦してみたいこと」「特に力を入れて取り組んでみたいこと」「業務改善をして取り組んでみたいこと」等があれば、具体的に教えてください。(表面2の回答以外で)